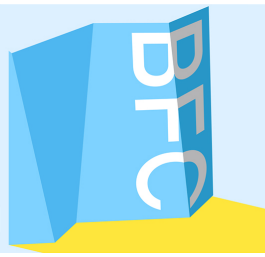


BOULDER FUTURE CUP 2026



第6回 ボルダーフューチャーカップ 鉾田

09.12 SAT — 09.13 SUN



2026年9月9日

BFC2026実行委員会

第6回ボルダーフューチャーカップ 鉾田 大会参加に当たっての注意事項（選手・観客向け）

この文書は、大会要項の各種注意事項を補完するものです。必ず大会要項も当日までにご確認ください。

（大会要項）<https://www.jma-climbing.org/competition/2026/bfc/>

○BFC開催にあたり健康管理のお願い

- 健康状態の自己管理をお願いします
- なお、下記に該当する場合は会場への入場を禁止します
発熱（37.5度以上）、体調がよくない（発熱・咳・咽頭痛・味覚、嗅覚異常などの症状が続いている）

○会場へのアクセス

1. 大会特設サイトをご覧ください。
<https://www.jma-climbing.org/competition/2026/bfc/access>
2. 車両の通行、近隣施設や近隣にお住まいの方の迷惑となりますので、大会会場周辺の公道で選手との待ち合わせ、送迎のための路上駐車はご遠慮ください。

○駐車場利用について

1. 大会会場の駐車エリアは全てのカテゴリの参加者が駐車できるスペースがありませんので、受付30分前以降の入場、表彰式後速やかな退場を厳守してください。
駐車スペースには限りがあります。スペースの確保を保証するものではありません。

○持参物 ※すべて必須

1. 上履き・下足入れ袋（体育館内は土足禁止です）

○公式掲示板

1. 公式掲示板のURLは以下の通りです。
https://jmanew.sakura.ne.jp/climbing/temp_results/yfc/2026/boulder/
2. 成績速報、公式成績は全てWeb上に掲載します。

○選手受付

1. 選手受付の時刻については大会特設サイトをご覧ください。

<https://www.jma-climbing.org/competition/2026/bfc/>

2. 選手受付の場所は以下の通りです。



3. 事前に公式掲示板で自身のナンバーカードを確認の上、受付時に名前とともに申告をお願いします。
4. オリジナルTシャツを申し込んだ方は、お受け取りをお願いします。

○競技に関する注意事項

1. ウォームアップエリア（部屋）は複数ありますが、それぞれの部屋の大きさは小学校の教室サイズなので広くはありません。荷物を広げるとストレッチ等、十分なスペースを確保できなくなってしまうので、ウォームアップエリア（部屋）へは必要な道具以外の持ち込みはご遠慮ください。また、空いているウォームアップエリア（部屋）から譲り合ってください。
2. ウォームアップエリア（部屋）に、荷物を置きっぱなしにしないようにしてください。
3. ボルダール（課題）番号は難易度を表すものではありません。また、トライ（アテンプト）回数に制限はありません。
4. 競技後、自分の成績を必ず公式掲示板（Web）等で確認し、疑義がある場合は速やかに申し出てください。
5. 成績に対する質問および抗議は、観戦スペース内に設ける「成績に関する問い合わせ窓口」で受け付けます。

○同行者への注意事項

1. ウォームアップエリア（部屋）の使用は選手のみで同行者は入ることはできません。
2. スペースの関係上、観戦エリアに椅子はありません。体育館内でレジャーシートを広げたり椅子などを持ち込むことはご遠慮ください。譲り合ってください。
3. 本大会はドーピングコントロール手続の対象となる全国大会です。選手は親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の[ウェブサイト](#)からダウンロードできます。受付での提出は不要です。

○親子研修会について

- それぞれのカテゴリの競技終了後、会場内にて親子研修会を実施します。選手は必ず参加してください。なお同行の保護者等のみなさまも一緒に参加ください。
- 両日ともすべてのプログラムの終了後に、競技エリアにて課題に触れることができる時間帯を設ける予定です。詳細は親子研修会にてお知らせします。

予定時間 9月12日(土) 女子 - [U-13] 11:25-11:55、[U-15] 15:20-15:50

9月13日(日) 男子 - [U-13] 11:25-11:55、[U-15] 15:25-15:55

○JADAアウトリーチプログラムについて

- 大会期間中、会場内にJADA（日本アンチ・ドーピング機構）によるアウトリーチプログラムのブースを設置いたします。ぜひお立ち寄りください。

○その他

1. 会場内は土足禁止です。上履きと下足入れの袋をご持参ください。
2. ゴミは各自で持ち帰ってください。
3. 会場内の電源は使用しないでください。
4. 今大会ではADカードを配布しません。

次ページ以降もご確認ください。

第6回ボルダーフューチャーカップ鉾田

参加するみなさんに知っておいて欲しいこと（大会の流れ、ルールなど）

☆大会前日までに・・・

大会ウェブサイトに掲載している、参加者案内や大会スケジュールをよく確認しましょう。特に自分が参加するカテゴリーの次の時間をしっかりと確認しましょう。

①受付が始まる時間・終わる時間

②競技が始まる時間・終わる時間

また、大会ルールはここの中でも簡単に説明しますが、事前に「JMSCAスポーツクライミング競技規則」と「競技規則適用変更一覧」を確認してください。

☆会場に到着したら・・・

はじめに、受付を済ませてください。受付の後に、ウォームアップエリアでウォールを使ったアップができます。受付が終わる時間までに、受付を済ませないと競技に参加することができません。

受付では、自分の成績を記録する「スコアカード」と、競技中に使う「ナンバーカード」が配られます。この二つの配布物は絶対になくさないでください。ナンバーカードは、競技中に着るTシャツやタンクトップ等の背中の見やすい位置に貼り付けてください。（ナンバーカードはシールになっています）

☆競技開始前

競技が始まる **5分前** から、自分が登りたい課題の前に並ぶことができます。並ぶときには、必ず自分のスコアカードを持ってきてください。課題は自分の受付が終わった後から自由に見ることができます。

☆競技中

課題は全部で8つあります。課題番号と難易度は関係ありません。課題を登る順番は決まっていないので、自分が登ってみたい順番で、どの課題から登り始めても大丈夫です。それぞれの課題は何度でも登ることができます。

それぞれの課題での流れは次の通りです。

①自分の順番がきたら、審判にスコアカードを渡してください。

②審判がスコアカードと背中のナンバーカードを確認します。確認が終わるまではマットに上がったり、登り始めたりしないでください。

③審判の合図でマットに上がって登り始めてください。登り始める前に、ブラシでホールドを掃除することはできますが、自分で持ってきたブラシではなく必ず大会のために用意されたブラシを使ってください。

④完登した、途中で落ちてしまった、トライ（アテンプト）開始前にスタートホールド以外を触ってしまった、といったことがあれば、次の選手と交代です。審判からスコアカードを受け取ってください。スコアカードを受け取る際に、アテンプトの回数が間違っていないか、ゾーンが取れているか、完登が認められているか、といったポイントを確認しましょう。もし何か間違っているなと思ったり、わからないことがあったらその場で審判に聞いてください。

競技時間の終わりのブザーが鳴ったら、すぐにウォールから降りてください。

☆競技終了後

自分のスコアカードを必ず提出してください。競技時間内にすべての課題を登り終えたり、競技を終了したい場合は、その時点でスコアカードを提出してください。

【課題を登るときに気にしてほしいこと】

①スタートポジション

身体のすべてが地面から離れた後、必ず4本のテープで指定されたスタートホールドに両手両足を置いてから登りはじめましょう。スタートホールドに両手両足を置く前に、その先のホールドを使ってしまうとそこでそのアテンプトは終了となり次の選手と交代になってしまいます。

②ゾーン

「ゾーンを獲得した/していない」という判定のために、「選手がゾーンホールドを使って身体の動きをコントロールできているか」という視点から審判は選手のパフォーマンスを見ています。ゾーンホールドをつかんでいるということだけでは「ゾーンを獲得した」という判定にはなりません。

③完登

完登を認められるためには、安定した体勢で両手をトップホールドに置き、審判が「OK」とコールする必要があります。「OK」のコールを必ず聞いてから降りるようにしましょう。

【自分の成績がおかしいと思ったら】

選手みなさんには、自分のパフォーマンスに対する判定に対して「あれっ、おかしいな？」と思ったときに、もう一度判定を見直してもらう権利があります。（見直してもらうようお願いすることを「抗議を申し立てる」と言います。）抗議の内容によって、申し立てるタイミングが違うので注意してください。

①当該ボルダーでの追加のアテンプトを行なうことが認められる抗議

「正しくスタートしたのに、審判が誤ってアテンプトを止めてしまった」といった場合です。これは、その場で抗議または参加しているカテゴリーの競技時間が終了する前までに抗議してください。

②当該ボルダーでの追加のアテンプトを行なうことが認められない抗議

「スコアカードには4回目でゾーンを獲得したことになるけど、3回目で自分は獲得したと思う」といった場合です。これは、その場で抗議もしくは参加しているカテゴリーの競技時間終了後5分以内に抗議してください。

③公式成績への抗議

公式成績に対しては、スコアカードの内容と発表された公式成績の内容が違うなと思った場合にだけ、抗議をすることができます。①や②のような抗議は、公式成績発表時にはできません。